



インタビュー インドネシア経済の概況と今後の見通し

躍進する新興経済大国 インドネシア

経済発展が続くインドネシア。日系企業の進出状況は。

ジェトロ ジャカルタ事務所長

高橋 正和 氏

年5%前後の経済成長を10年間維持

—— 経済成長は順調なようですね。

人口2億8160万人のインドネシアは、ASEAN加盟10カ国の4割を占め、世界第4位にして、最大のイスラム国。平均年齢も30.1歳と若く、2033年には3億人を突破し、2050年には3億2千万人に達するとの予測もされています。人口ボーナスも2040年頃まで延長される見込みで、年間の可処分所得5千ドル以上の中間層人口が急速に増加し、消費の拡大が顕著に。それゆえ内需が強く、コロナ禍の影響を受けた2020年(-2.07%)を除けば、年5%前後の経済成長10年間ほど維持しています。

貿易収支も5年連続で黒字。特に2022年にはウクライナ危機を背景とした石炭、パーム油などの資源価格上昇がけん引し、輸出入額ともに過去最高となりました。

インドネシア	
名目 GDP	1兆4025億ドル
1人当たり GDP	4981ドル
人口	2億8160万人

【参考：日本】	
名目 GDP	4兆2309億ドル
1人当たり GDP	3万3822ドル
人口	1億2517万人

(出所) IMF [World Economic Outlook Database, October 2024]

日系企業の7割は黒字

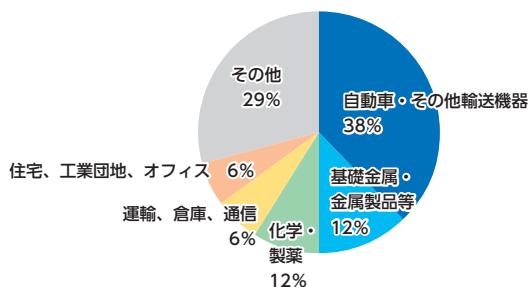
—— 日本からの投資はいかがですか？

外国企業の直接投資額はコロナ禍でも一貫

して増加しており、2024年には過去最高の約600億ドルに。ただし、日本からの投資額は2019年からの過去5年間は3～4位をキープしてきたものの、同年は34億6300万ドルで第6位に陥落。シンガポールや香港、中国は、地方(中央スラウェシ州や北マルク州)で、基礎金属(ニッケルなど)の鉱山開発や精錬所の設立などを大規模に展開しています。

日本の投資は自動車・その他輸送機器が主で、自動車販売台数86万5723台(2024年)のうち、日系企業のシェアは9割程度を占めます。近年では内需拡大を視野に消費財・サービス分野への進出が相次いでいます。

日本の直接投資実現額
産業別上位分野 (2023年)



出所：ジェトロ作成

その進出先はジャカルタ、西ジャワが中心で1569社に上る。インドネシア全体での進出拠点数は2182(2023年10月時点)、うち約7割の企業が2024年の営業利益は黒字の見込みで、ASEAN6カ国中で最高となっています。2024年の営業利益見込み(2023年比)が「改善」と回答した企業は38.4%で、約半数の企業が事